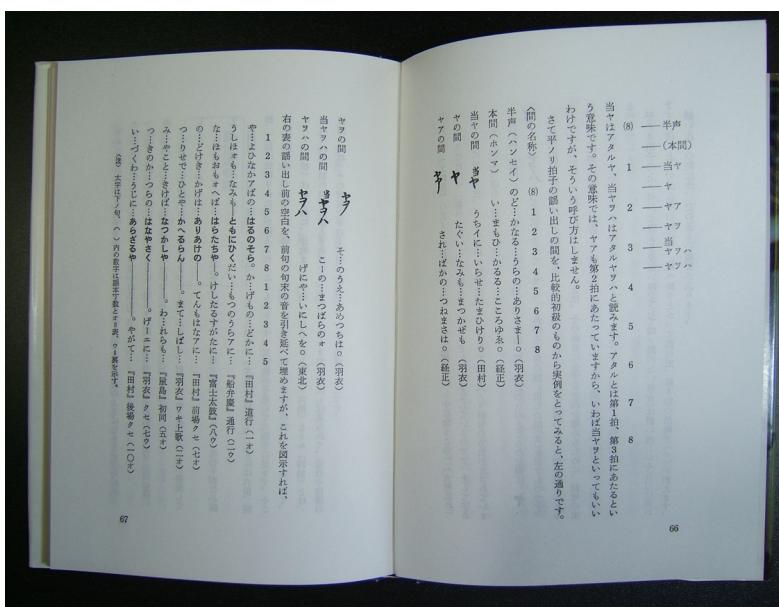
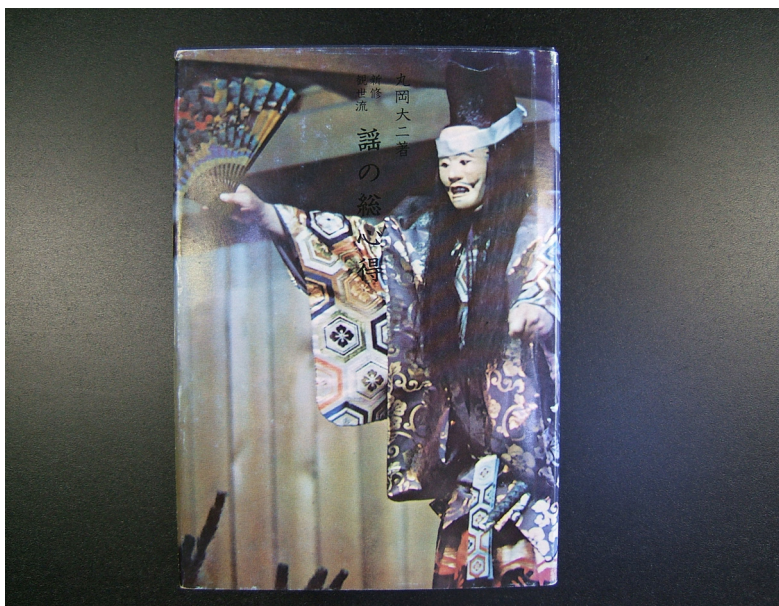


# 丸岡大二 『新修観世流 謡の総心得』

「観世流の歴史」「謡の本質」「曲の構成と小段」「謡の特徴」「観世流の節」「稽古の心得」「謡会の心得」の章からなる。「謡の特徴」の中に、「地拍子」の節がもうけられ、概説がなされる。「持ち」が古くは「ノベ」と呼ばれ、そのカタカナを略して書いた記号が、現在の「持ち」の記号の由来であると説く。本書では「トリ、片地」等を「本地」に対し「変則地」と呼んでいる。めずらしい呼称である。



標題 内題：―

標題紙：新修観世流 謡の総心得

奥 附：新修観世流 謡の総心得

その他：新修観世流 謡の総心得（表紙・

背

著者 奥 附：丸岡大二

その他の場所：丸岡大二（標題紙・はし

がき・表紙・背

出版 版次：第五版

出版地：東京

出版社：能楽書林

出版年：昭和57（1982）

その他の場所：―

形態 冊数：一冊 頁数：一三〇頁

寸法：19×13（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現

物

備考 初版は昭和四四（一九六九）年。